

SSKO

ハイランドレポート
(高原通信)

Highland report !?

D.A.R.C 那須アディクションケアセンター
ニュースレター 第33号(2005, 12, 10)

5 Stage Program

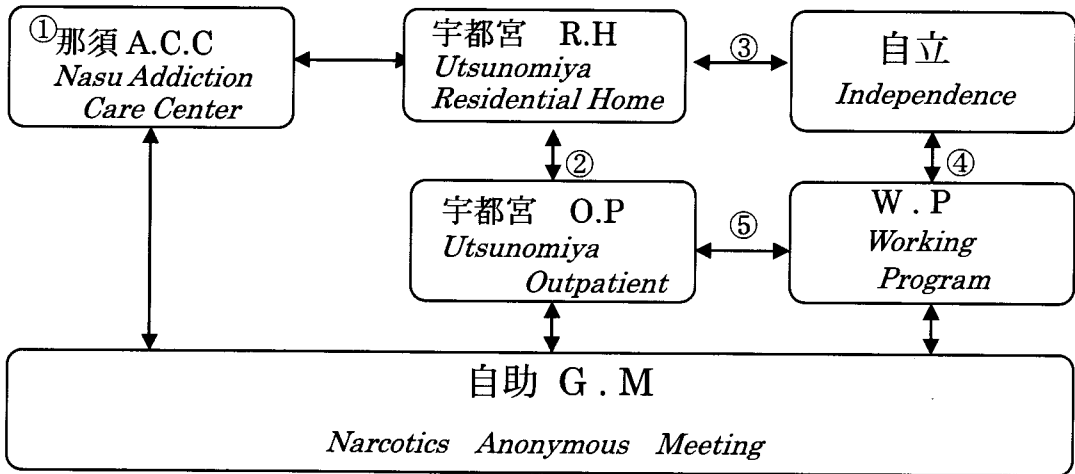
栃木ダルク
代表 栗坪千明

この那須に施設を開設して約3年の月日が経ちました。この間に入寮者たちと毎日接していて、ずっと考えていたことなのですが、那須はとても自然環境に恵まれていてクスリを止めるには最適な場所だと思います。四季の移り変わりも新鮮に感じることが出来、ミーティングをするにも静かで、スピリチュアリティな場所であること。また、クスリを使わない楽しさを見つけるという面においても優れています。薬物依存からの回復には何の問題もないように感じます。が、前々から私が懸念していたことがあります。まずひとつにはこの栃木県で社会復帰をしたいという仲間がいても、色々試みたのですが、施設の近辺ではなかなか生活を維持できるような仕事がないということです。それで今までは、その部分を他のダルクにお願いしてという方法をとっていたのですが、都市部の施設に移動すると、この自然環境に恵まれた施設との環境の大幅な違いに戸惑い、リラプスしてしまうことが多く、私たちも残念に思っていました。



そこで大都市でもなく、この那須からも近いということもあり、宇都宮に社会復帰できる拠点ができたなら良いなと少し前から望むようになりました。行く先々でそのことを話していましたところ。通常では考えられないような安価な家賃で宿泊施設と通所の施設を借りることが出来ました。

このことにより、栃木ダルクのプログラムを充実させることが可能になり、これからご説明するような新たな試みをしたいと思っています。



★ 1st Stage Treatment

個人によって入寮期間（～30ヶ月）は、異なります。ここでは、断薬・薬を使用しない日常生活・体力回復・仲間がいる生活 等を通じて体感・実感し、2nd Stage への準備をします。

★ 2nd Stage Rehabilitation

1st Stage での生活を経て、より社会復帰しやすい環境での生活を実践します。ここでは1st Stage よりも強い“自己責任感”が、必要とされます。

★ 3rd Stage Working Program

2nd Stage での生活が安定し始めてきたら、アルバイト（週1～週5）を通じ、自分の力で収入を得ることをします。仕事上での人間関係や就労をしながらの1日の過ごし方など、あらゆる面での不自由さを体感・実感します。そこで、必要不可欠なものが、アフターケアとしてのNAミーティングへの参加と活用を定着させることとなります。

★ 4th Stage Independence

仲間との共同生活ではなく、アパートなどでの1人暮らし開始です。ここでは、比重が“WORK（仕事）”になりがちです。その為に3rd Stage でのNAミーティングの活用方を上手に取り入れての生活習慣を身につけます。

★ 5th Stage Self Care

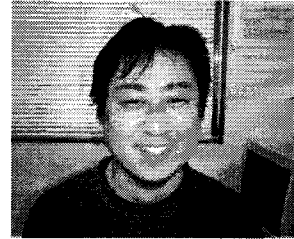
1人の生活が始まり、生きづらさが生じたら宇都宮 O.P に参加します。

以上のような形で薬物依存症者の回復に向け、これからも活動していきますので、今後ともますますのご協力とご鞭撻をお願いいたします。

CONSEQUENCIA（結果）

依存症のジョージ

ブラジルのサンパウロ生まれで29歳です。4人兄弟の末っ子として16歳までブラジルで育ちました。父親は仕事をしていたが余り家にお金を入れなかった為、母親が働いて家を買ってローンを払うため朝から晩まで一生懸命に働いていましたが僕が7歳のとき死んでしまいました。すごくショックでした。

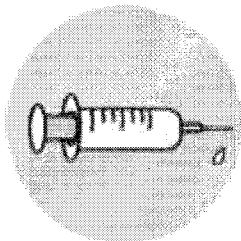


母親が死んでしまったあとは、実家から600キロ離れたおばさんの家に一人で引き取られました。1年に一回位、姉が会いに来てくれました。すごく嬉しかったのを覚えています。おばさん達は僕にとっても良くしてくれていましたが11歳のとき事情は判りませんが実家に帰ることになりました。



家に戻ったとき父がアル中であることがわかりました。父はお酒を飲んで、いつも兄と喧嘩ばかりしていて嫌な思いをしていたのを覚えています。そんな生活が嫌になったころ友達に誘われてアルコールを飲み出しました。すごく楽しかったです。12歳から朝はバイトで午後は学校に行き週末は友達たちと集まり酒を飲み嫌なことを忘られる様な気がしていました。14歳のとき6歳上の姉が日本に働きに行きました。15歳のとき日本にいた姉から連絡があり仕事をするなら日本に来たほうがいいと言われ考えました。日本に行きお金を貯めてブラジルにお店を出そうと思い1年間準備をして16歳のときに日本に来ました。その頃にはお酒をほとんど飲まずに生活していました。

日本に来て最初にビックリしたことは日本人ばかりだと言う事と（ブラジルには色々な人種の人がいるので）言葉が全然判らないことでした。それでも直ぐに仕事を始めました。姉夫婦のアパートに住んでいましたが数ヵ月後、些細なことで姉の旦那と喧嘩になりアパートを出て一人暮らしをすることになりました。お金を貯めて一人暮らしをすることになりました。ところが勤めていた工場が倒産



し宇都宮から千葉に仕事を移ることになり寮に入りました。

そこでタバコを覚えて止まっていた酒も毎日、飲むようになりました。そんな時、仕事仲間が薬をやっているのが判りました。仲間が楽しそうにしているのを見て、寂しさから抜け出せるのならと思い自分から薬を使いたいと話し

ました。仲間が用意した薬は覚せい剤でした。ビックリしました。初めて使ったときは「何だたいしたこと無いな」と思いました。そのままディスコに行き酒を飲み踊っているとだんだん気持ちが悪くなりこれはすごいと思いました。それから週末、薬を使ってディスコに行くという生活が始まりました。最初の内は楽しく使えていましたが1年後、薬を使って会社の先輩と喧嘩になり会社を辞めて宇都宮で仕事を始めました。薬もすぐに使い始めました。

そんな時、好きな女性が出来ました。その女性と結婚しようと思ひ薬を止めることにしました。4年間は薬を使わずに一生懸命働き、その間に娘も出来て幸せでしたが彼女の浮気が原因で別れることになりました。そのことが自分のプライドを傷つけられ、その悲しみから逃げるために酒を大量に飲むようになりました。

でも昔の様に楽しくならず悲しくなるばかりでした。それならと思ひ4年ぶりに覚せい剤を使いました。最初の頃は辛いことを忘れて楽しく使えましたがだんだん遅刻や休みなどが多くなり友達から借金をしたり妄想が入ってくるようになりました。

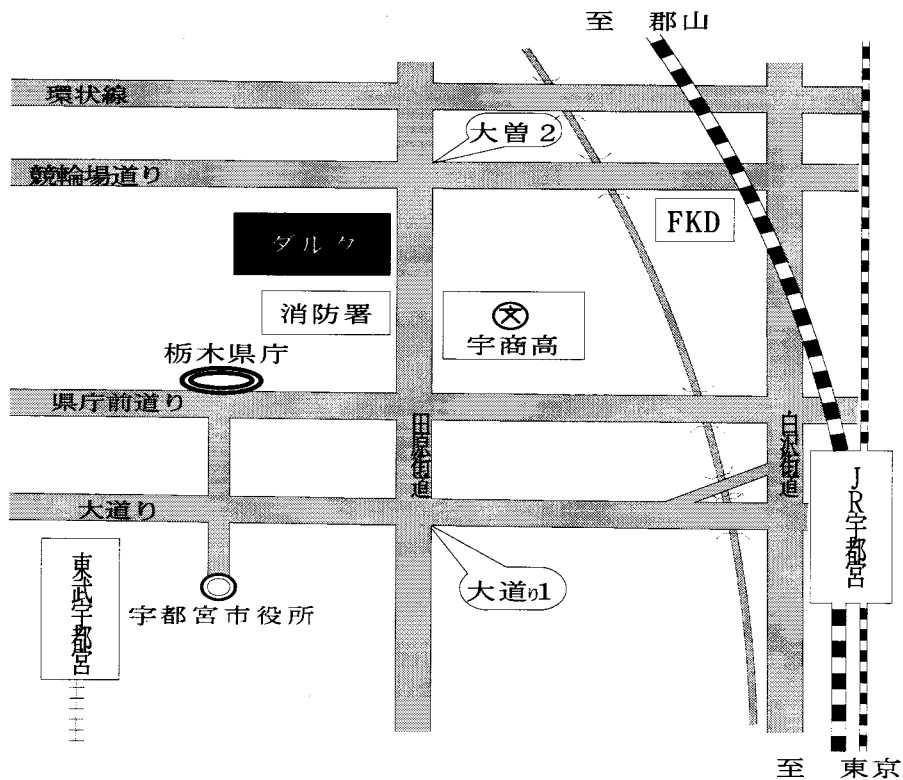
辛いことを忘れるために使い始めた薬の筈なのに、だんだんと苦しくなる事の方が多くなってきて生きる気力がなくなくなり死ぬことも考え始めました。このままではだめになると思ひ薬のことは内緒にして姉に相談をして東京の宗教団体（ブラジルでは困った時に宗教に行くことは当たり前）に3ヶ月間行くことにしました。そこでは薬、お酒、タバコをすべて止めたんですが行って2ヶ月ぐらいいしてから急に幻聴が聞こえ始めました。そして宇都宮に戻り仕事を始めましたが幻聴の指示に従い仕事をしてミスをたくさんしてしまい会社を解雇されてしまいました。

そんな僕を見かねた姉が病院に連れて行ってくれましたが薬を使った事が原因だとはいえませんでした。幻聴に支配された生活が続いた結果、薬を大量に使いオバドーズになり精神科に入院して幻聴が止まりました。病院でDARCを勧められて来る事になりました。入寮する前は不安になることもたくさんあったけどDARCは薬を使った人たちがたくさんいて苦しいのは自分だけじゃないことが分かり、すごく安心しました。



今でもお酒を飲みたくなるときがあるけど飲んだら覚せい剤を使いたくなるのも分かったし、自分の気持ちをミーティングで話すことが楽になることだというのも気づけました。

日本語が読めないし話すことも得意じゃないけど、みんな自分に優しくしてくれて仲間や施設に感謝しています。



〒320-0014
 栃木県宇都宮市大曾2丁目2番14号 形松ビル 3F 東
 TEL 0286-50-5582
 ※連絡は12月20日以降お願いします。

12月予定表

4日	仙台家族会
6日	佐野保護区保護司会公演
6日	栃木商業高等学校公演
7日	鹿沼農業高等学校公演
10日	北関東薬物関連問題研究会
15日	クリーンナップ
18日	X'mas チャリティーコンサート
22日	宇都宮保護観察所公演
25日	宇都宮家族会
27日	もちつき



黒羽刑務所、矯正展にて

発行所

郵便番号一五七一〇〇七三
東京都世田谷区砧六一二六一二一
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価100円

10月献金を下さった方々

箕輪隆光様、菅谷文利様、小菅昌江様、水井清次様、ドムスしずおか様
大和田訓次郎様、久保君子様、鈴木淑子様、工藤和明様、鬼沢信様
大久保健三様、大久保寿子様、長谷川和則様、小林博様
匿名3名様

10月献品を下された方々

山口絵美様、伊藤設備様、永田欣也様、那須ヶアセンターを支援する家族会様
那須町社会福祉協議会様、荒木純子様、井澤和子様、久保君子様
高久勝様、渡邊伸一様、近藤礼子様

編集

D.A.R.C 那須アクションケアセンター
〒329-3225 栃木県那須郡那須町豊原丙 3227 番地 2

TEL 0287-77-7157 FAX 77-7158

Eメール n-cc@mte.biglobe.ne.jp

ホームページアドレス <http://www5f.biglobe.ne.jp/~NACC/>